

# 個人投資家向け説明会資料



ヤマシンフィルタ株式会社  
＜証券コード6240＞  
2014年12月6日


I. 会社概要	P. 2
II. 特長と強み	P.11
III. 成長戦略	P.17
IV. 2015年3月期第2四半期業績・通期見通し	P.28
V. 参考資料	P.37

# I .会社概要


---



建機用油圧フィルタで世界最大手



フィルタのキーパーツ「ろ材」の自社開発をはじめ、高い技術開発力で競争優位を実現し、アフターマーケット市場などで盤石な収益基盤を構築



建機用フィルタ分野での収益基盤とフィルタ開発能力をベースに、総合フィルタメーカーとして中長期的な成長を目指す

年月	内容
56年4月	フィルタの製造販売会社として山信工業株式会社を資本金500千円で設立
75年5月	佐賀県三養基郡上峰村に佐賀工場を開設
89年4月	フィリピン セブ島に現地法人YAMASHIN CEBU FILTER MANUFACTURING CORPORATIONを設立
95年7月	アメリカ シカゴにYAMASHIN AMERICA INCORPORATEDを設立
96年4月	オランダ ロッテルダムにYAMASHIN EUROPE B.V.を設立
01年2月	タイ アユタヤにYAMASHIN THAI LIMITEDを設立
07年5月	中国上海にYAMASHIN FILTER SHANGHAI INCORPORATEDを設立
10年9月	中国蘇州にYAMASHIN FILTER (SIP) RESEARCH & DEVELOPMENT CENTER INCORPORATEDを設立
10年11月	YAMASHIN THAI LIMITEDの営業事務所をバンコクに開設
10年12月	ベルギーブラッセルにYAMASHIN EUROPE BRUSSEL BVBAを設立
11年3月	YAMASHIN EUROPE BRUSSELS BVBAがYAMASHIN EUROPE B.V.を吸収合併
11年10月	横浜開発センタを神奈川県横浜市磯子区に開設
11年10月	タイ アユタヤの洪水によりYAMASHIN THAI LIMITEDの工場に被害発生
12年6月	佐賀県三養基郡上峰町にYSK株式会社を設立
12年5月	オリンパスの工場買収、YAMASHIN CEBU FILTER MANUFACTURING CORPORATIONの社屋拡大
12年12月	YAMASHIN THAI LIMITEDの生産事業をYAMASHIN CEBU FILTER MANUFACTURING CORPORATIONへ移管
14年10月	東京証券取引所市場第2部へ上場

## 事業環境

建機メーカーの海外進出

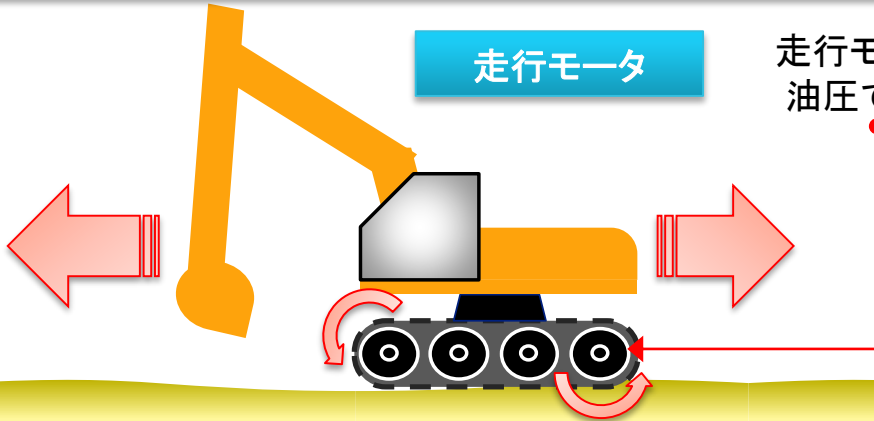
建機の高性能化  
海外進出の加速  
環境保全運動の活発化環境対応の高度化  
(排ガス規制の導入・  
強化)  
新興国市場の拡大  
IT化

## ■ 建機は油圧で動いている

### ① 移動する・止まる・曲がる

走行モータ

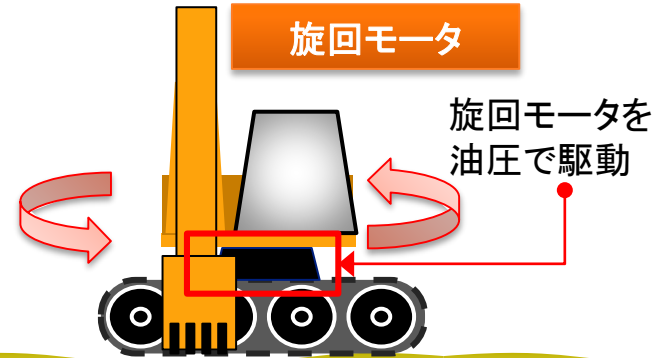
走行モータを  
油圧で駆動



### ② 上体を旋回する

旋回モータ

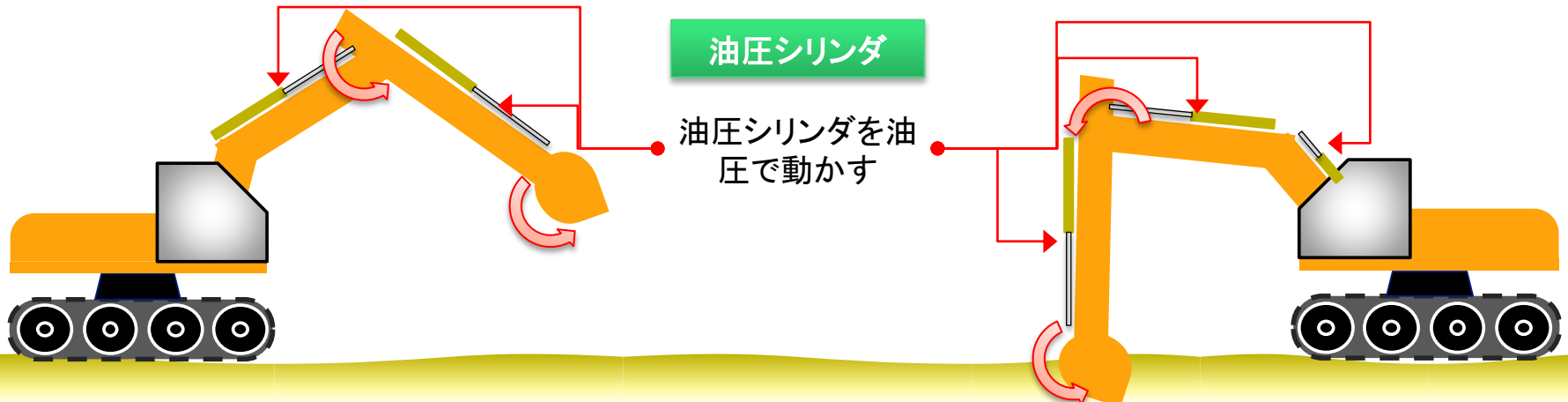
旋回モータを  
油圧で駆動



### ③ ショベルを動かす

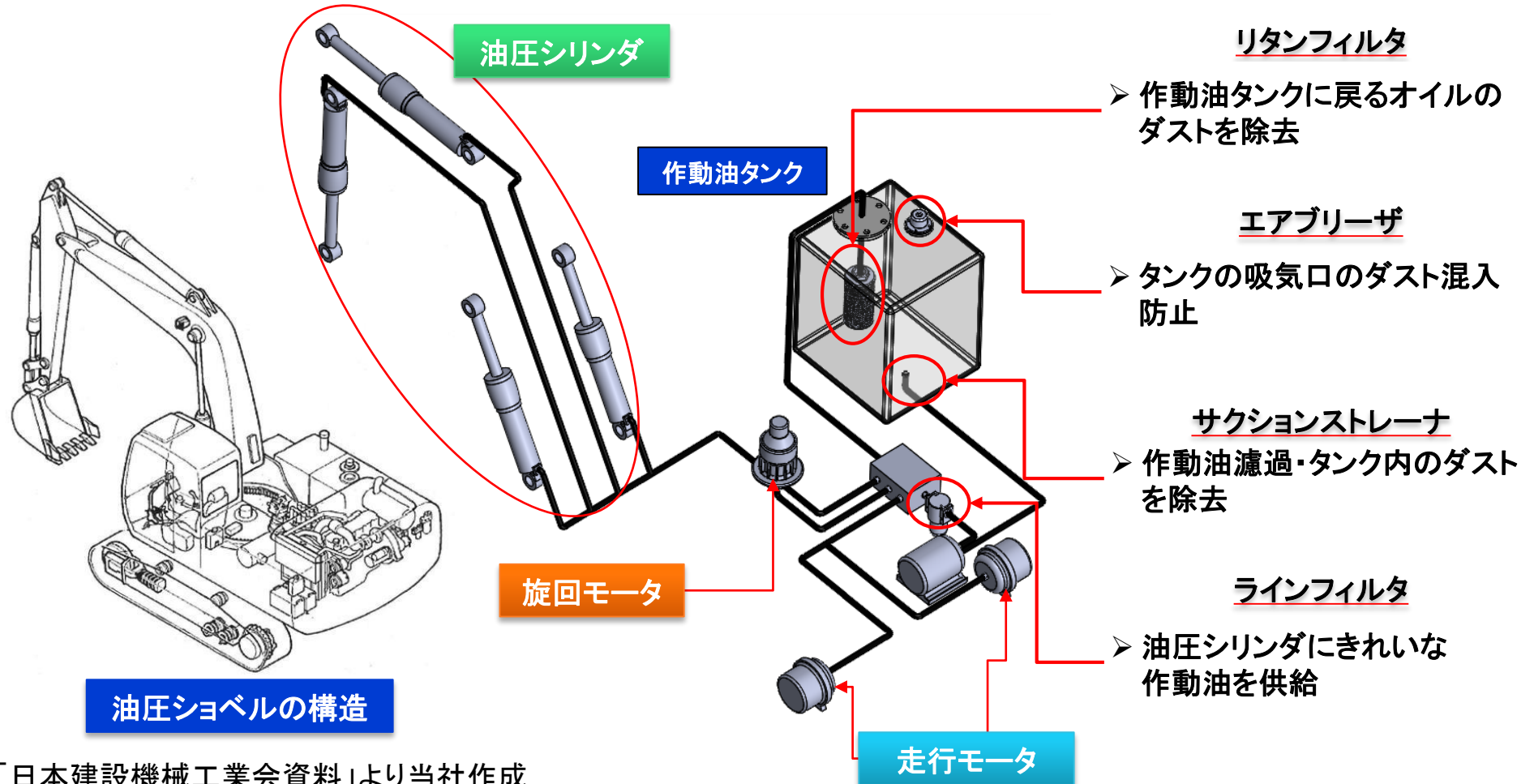
油圧シリンダ

油圧シリンダを油  
圧で動かす



## ■ 油圧機器を動かす作動油からダストを除去する

### 油圧機器の配置とフィルタの機能



出典: 「日本建設機械工業会資料」より当社作成

## ■ 油圧ショベル向け油圧フィルタの世界最大手

### 建機用フィルタ

- ▶ **建機用油圧フィルタ**で業界トップシェア
- ▶ 油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過用フィルタを製造販売



### 産業用フィルタ

- ▶ 工作機械、プレス機械、鉄道車両、農機、船舶など、**多様な業界**に機械用オイル・フィルタを提供



建機用フィルタ  
88%

14.3期  
売上高  
105.3億円

産業用  
フィルタ  
4%

プロセス用  
フィルタ  
8%

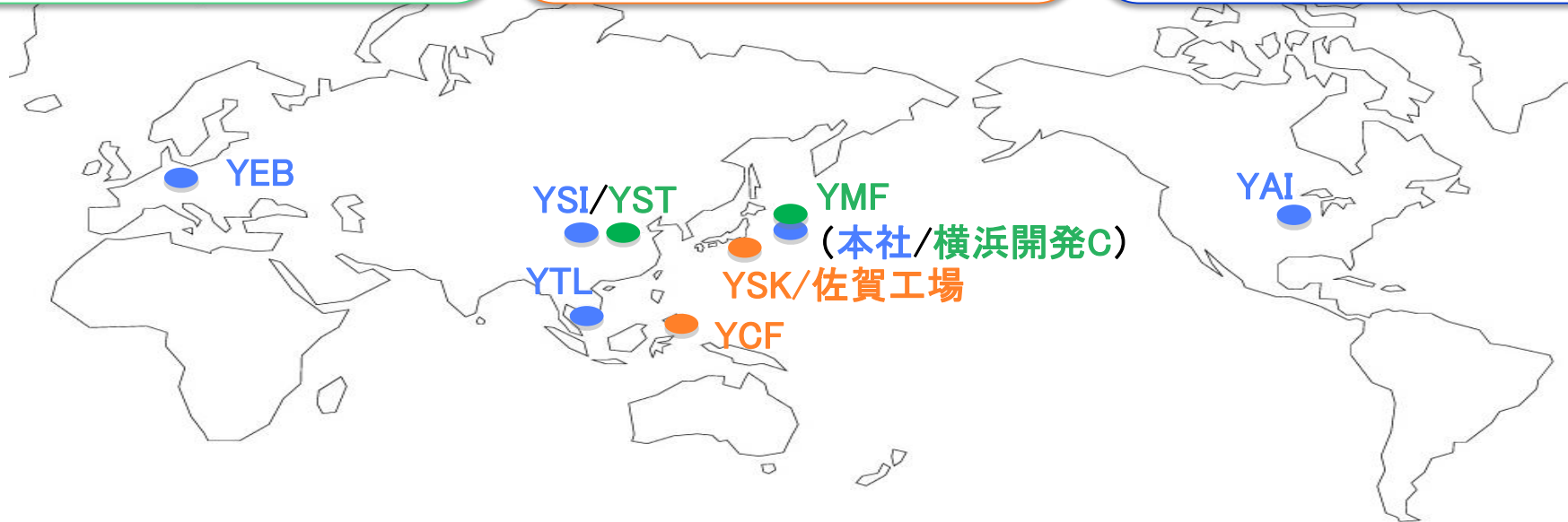
### プロセス用フィルタ

- ▶ 電子部品、液晶、食品などの製造工程でのろ過・分離用フィルタを提供
- ▶ **ナノレベル**のろ過を実現





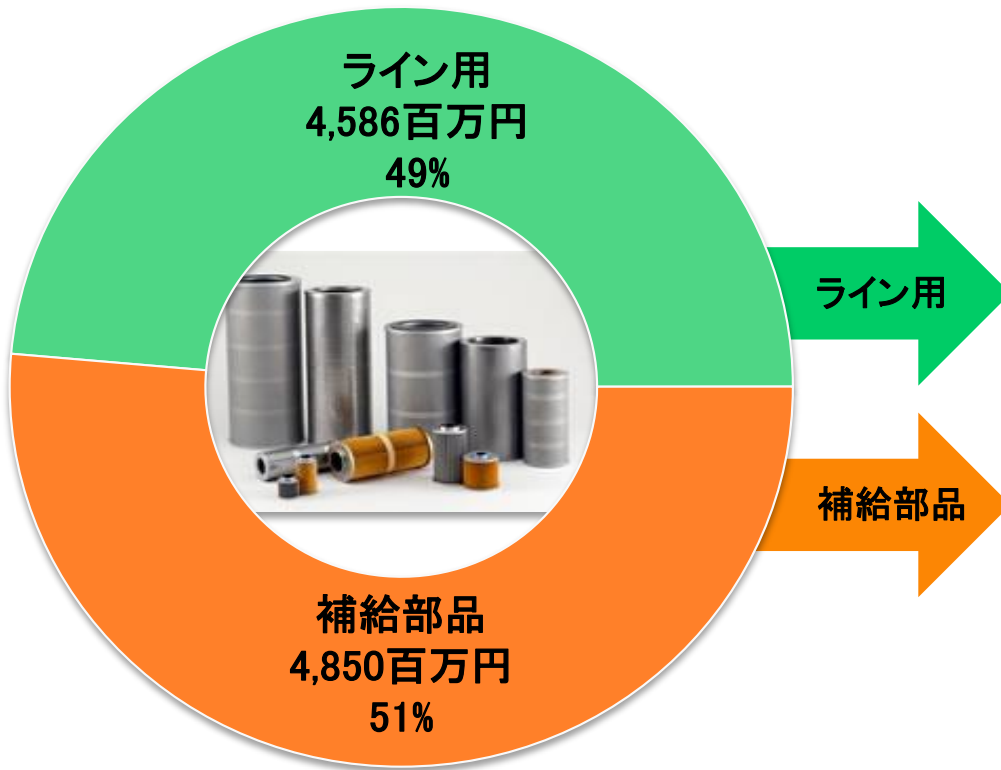
## ■ 開発から製造、販売まで一貫して手掛ける



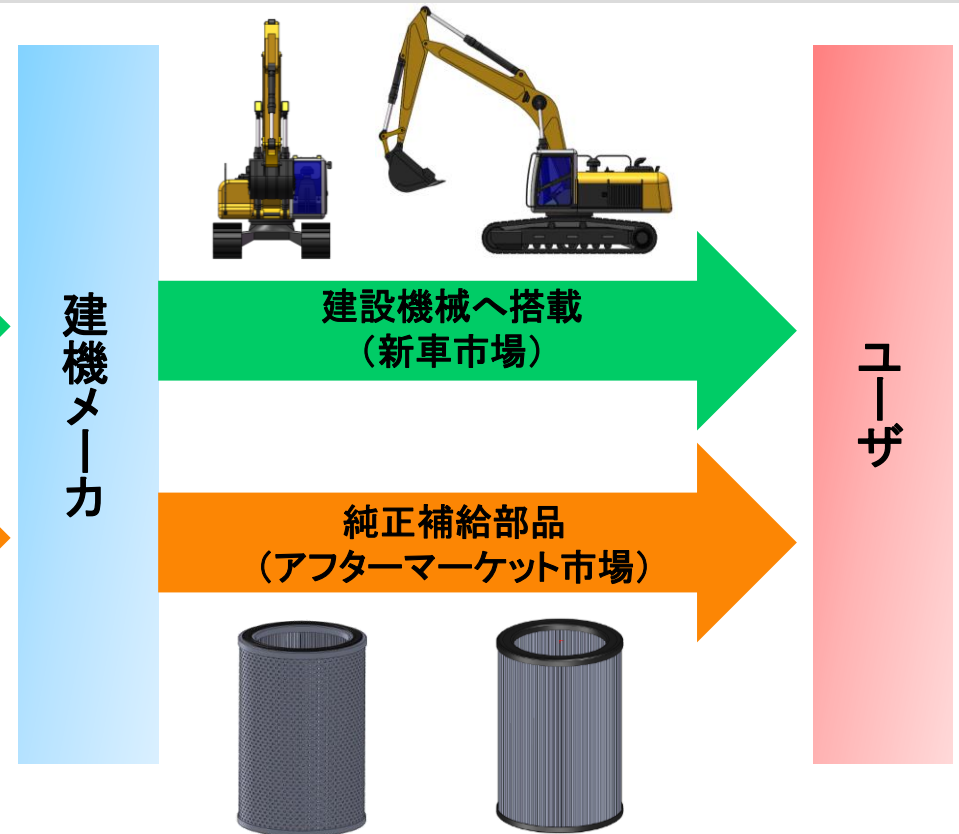
- 開発拠点
- 販売拠点
- 製造工場

## ■ 建機用フィルタの提供先は、建機メーカーに**一本化**

14.3期建機用フィルタ売上高・構成比



ビジネス・フロー



※ライン用とは新車搭載用のフィルタ、補給部品とは交換部品用フィルタを示しています

## ■ 建機業界の発展に寄与して半世紀

創業期  
(1956-1980)

成長期  
(1981-2000)

第2創業期  
(2001-2014)

建機業界の課題

ダストによる故障

油圧の高圧化  
電子制御化

模倣部品の流通

当社の  
ソリューション

ろ材の自社開発による高  
精度フィルタ製品化

ガラス繊維ろ材の開発業  
界初のメーカー専用製品  
化

セミナーによる純正品の  
高性能性訴求

## Ⅱ. 特長と強み

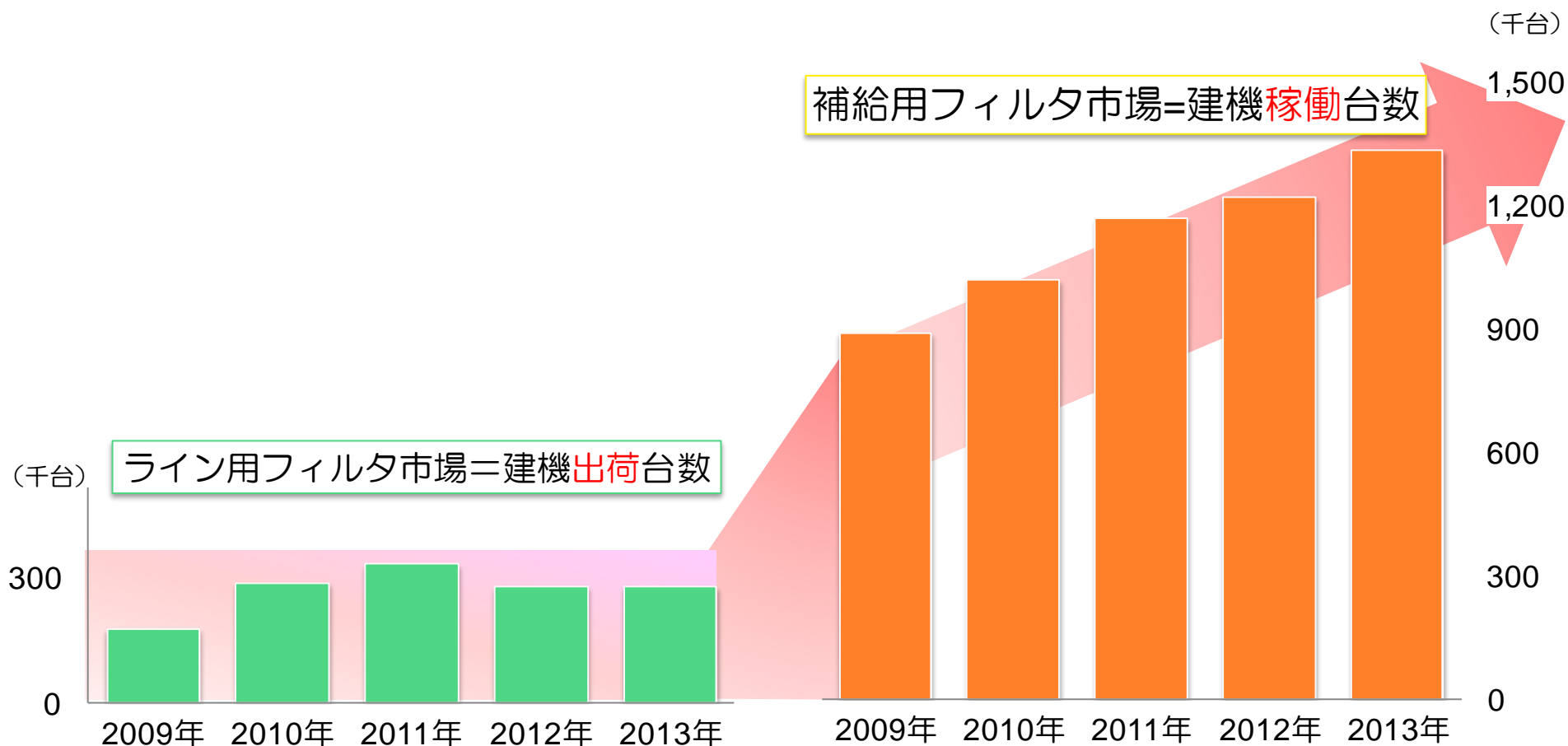
---

**1. アフターマーケットでの収益力**

**2. 顧客満足を超える提案**

**3. 建機メーカーとの強固なリレーションシップ**

## ■ 補給用フィルタ市場規模は、ライン用の5倍以上



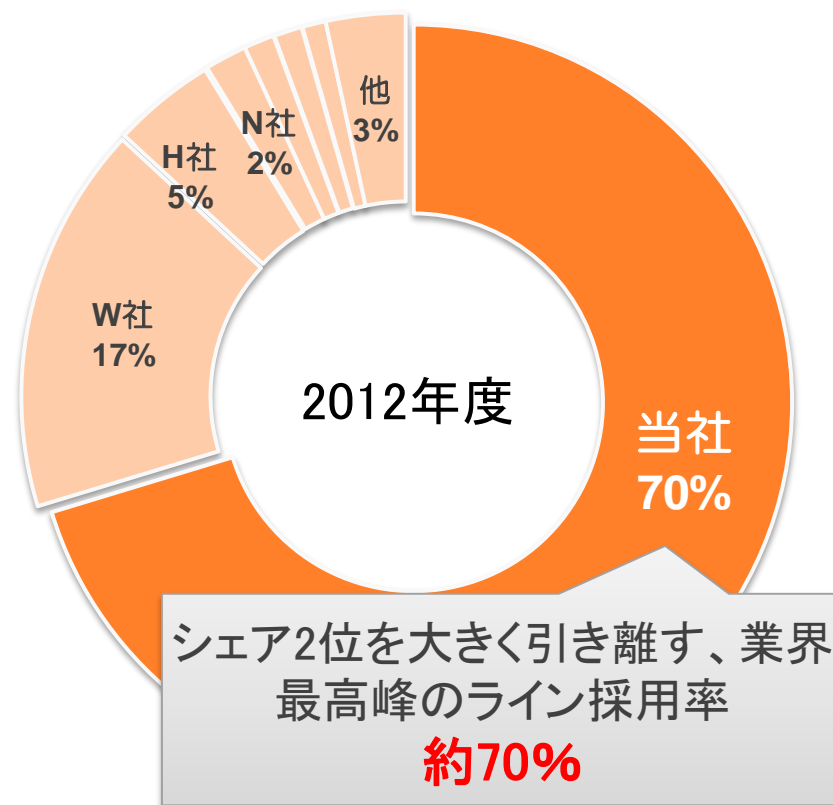
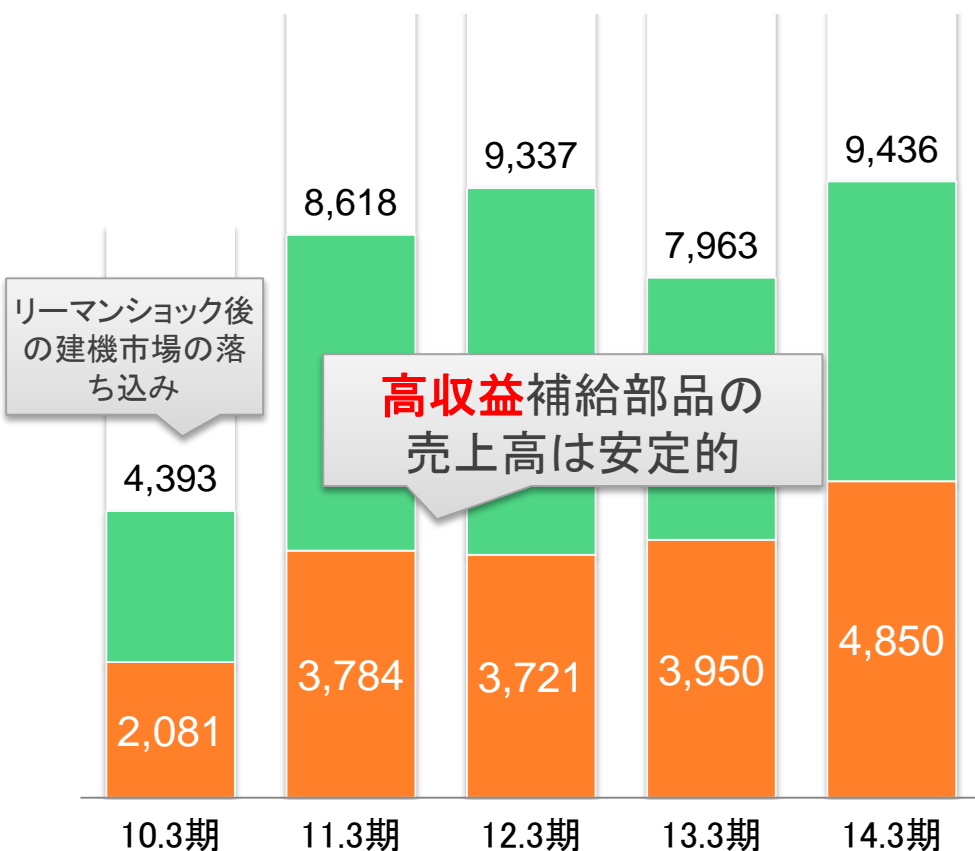
出所)各種統計情報より当社推計

## ■ 高いライン採用率こそ、全ての成功要因

ライン用、補給部品別売上高の推移

国内主要建機向け油圧フィルタメーカーのシェア

■ 補給部品 ■ ライン用



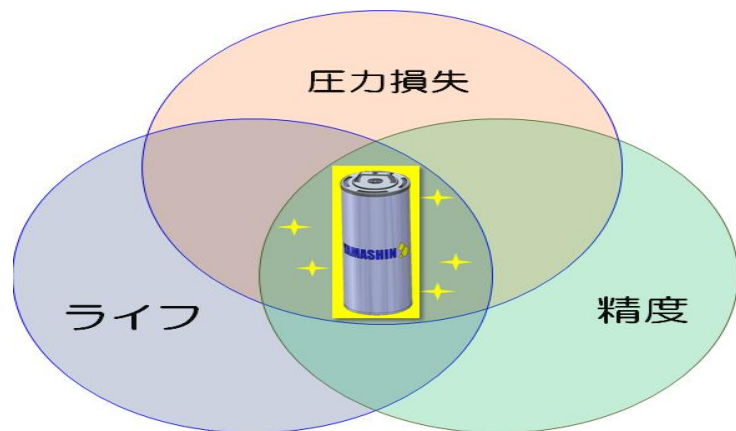
出所) 矢野経済研究所

## ■ 開発の基本は、顧客満足を超えた驚きの提案

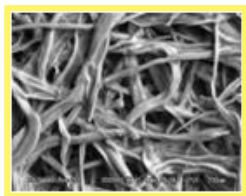
### ① ガラス繊維ろ材の開発

- 建機の省エネ化に伴う、**油圧の高圧化**に対応するろ材を独自に開発

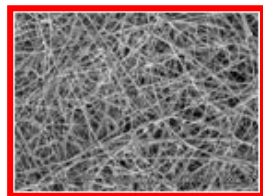
－ろ材性能の決定要素－



－紙ろ材－



－ガラス繊維ろ材－



ダスト獲得力は**850倍**(当社比)

### ② 多彩なコンセプトの具現化

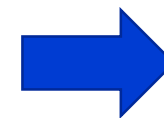
- 顧客それぞれの**潜在的ニーズ**を読み取り、コンセプトを的確に製品化

－国内大手建機メーカー向け提案事例－

－従来品－



－提案品－

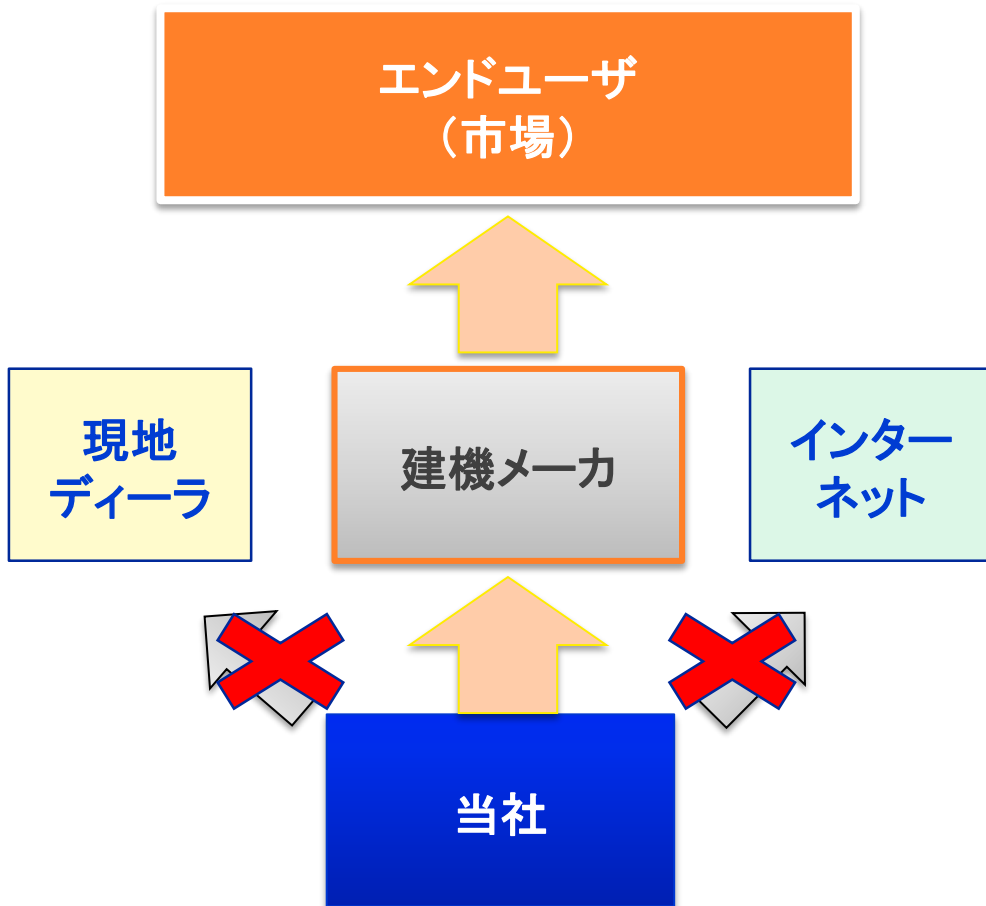


- ガラス繊維を使用した**世界初**の油圧フィルタ
- フィルタのサイズは従来品の**半分**以下
- ライフは従来品の**2倍**以上
- ろ過精度を**4倍**に**高精度化**



## ■ 信頼関係がアフターマーケットでのWIN-WIN関係を可能にする

建機メーカーの市場は荒さない



主要5社顧客向けに現地でのセミナー活動

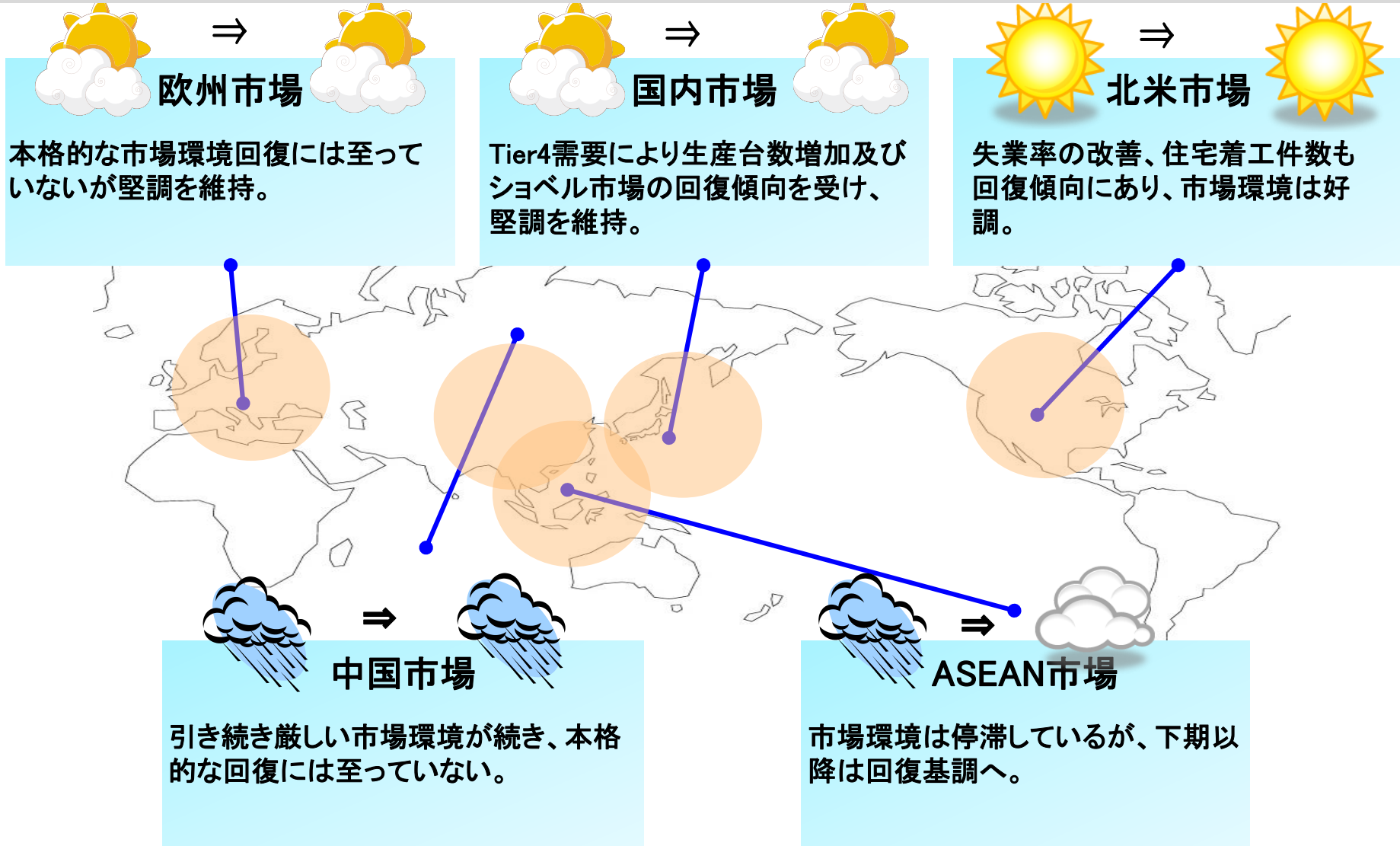


セミナー動員数  
累計45,000人  
を突破！

## Ⅲ.成長戦略

---

## ■ 北米、欧州、国内は堅調を維持、中国、ASEANは停滞



戦略①

戦略②

戦略③

収益力の向上

## 戦略① 油圧フィルタ分野の更なる深耕

- ライン採用の維持・向上（米国、中国）
- アフターマーケットでの収益力強化

## 戦略② 油圧フィルタ周辺分野への拡大

- トランスミッション用フィルタ
- エンジン用オイルフィルタ
- 燃料用フィルタ

## 戦略③ 新分野の育成・チャレンジ

- 建機周辺分野の可能性
- 新分野へのチャレンジ

事業基盤の強化

業容の拡大

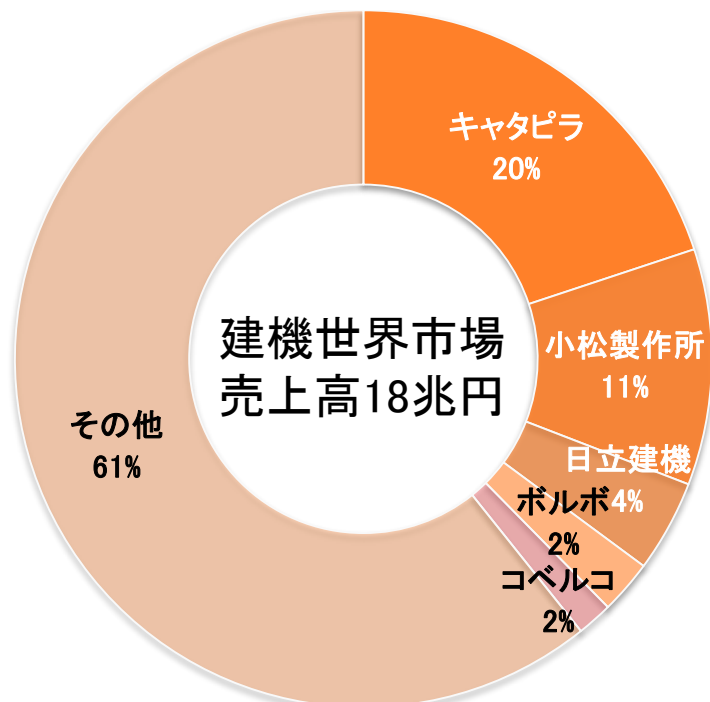
戦略①

戦略②

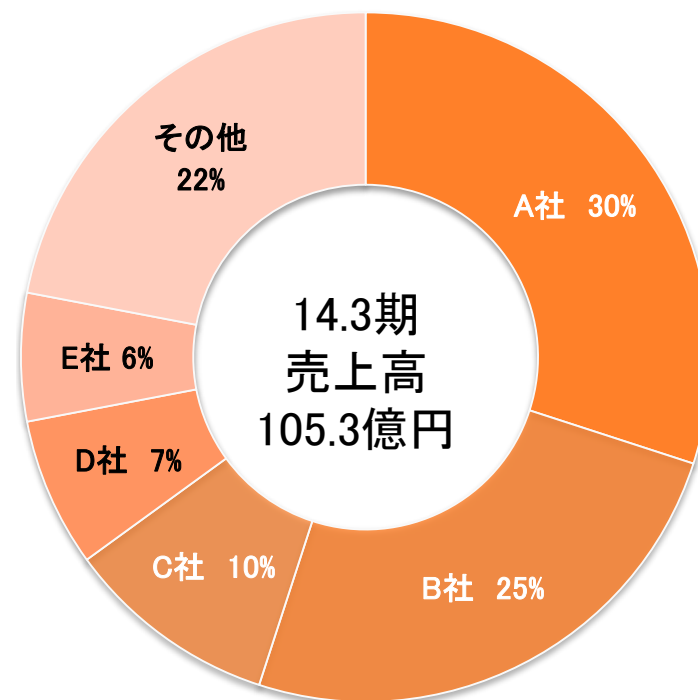
戦略③

## ■ 主要建機メーカーをシェアと主要顧客別売上

建機業界 メーカー別シェア



顧客別売上高構成比



建機世界市場<2012年矢野経済研究所推定>

## ■ 主力事業の油圧フィルタでの**圧倒的な競争力**の維持・向上

戦略①

戦略②

戦略③

1

- 顧客満足度を超えた驚きの提案
  - 提案力・開発力を研ぎ澄ます
  - 開発営業部の強化、顧客ニーズ

2

- 顧客基盤の強化
  - モデルチェンジ機会を捉える
  - 新興勢力メーカーの攻略

ライン採用率の  
維持・強化

3

- 信頼性の向上
  - 生産技術の向上
  - 供給体制の整備

4

- コスト競争力
  - 効率化、設計力の強化
  - 利益率の向上

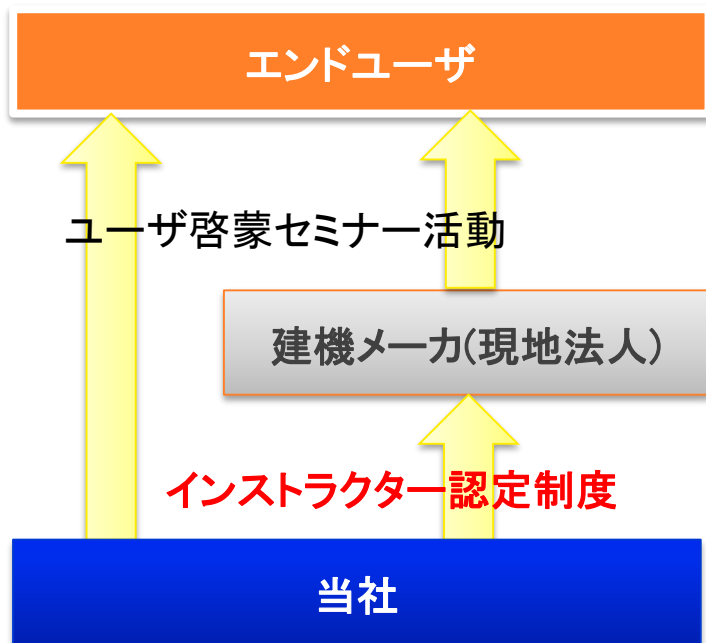
戦略①

戦略②

戦略③

## ■ 純正率の向上 (ソフトとハードの両輪で模造品を駆逐)

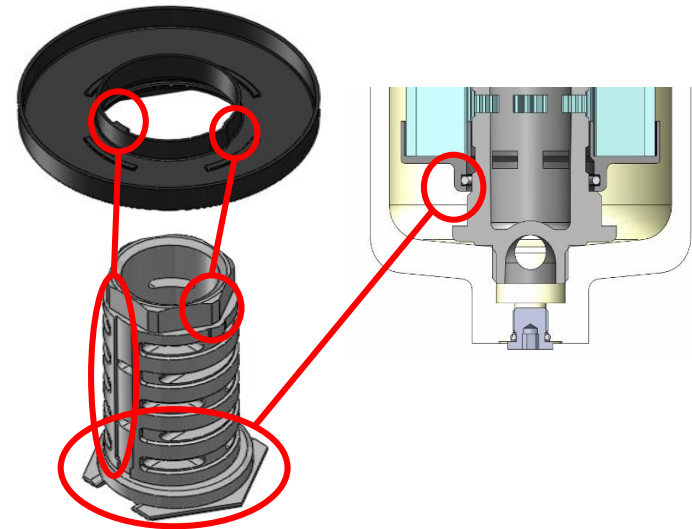
### ① ソフト(認知)による対策



#### ■ ユーザー啓蒙セミナー活動の推進

- 新興国のユーザに純正品の性能訴求
- インストラクター・セミナー開催数増加

### ② ハード(設計)による対策



#### ■ イミテーション対策設計フィルタの投入

- 構造的互換性の排除
- ICTによる管理
- 特許による牽制

## ■ 油圧フィルタ周辺には、未開拓の市場

戦略①

戦略②

戦略③

### 建機用フィルタ市場

油圧 (HYD)

エンジン (Eng)

燃料 (Fuel)

トランスミッション  
(TM)

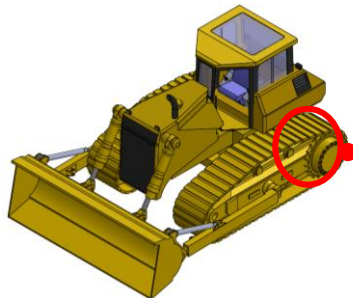
出所) 当社推計



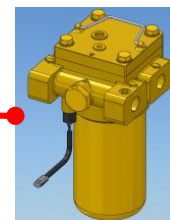
## 戦略② 油圧フィルタ周辺分野への拡大

### ■ 米国大手建機メーカー向けトランスミッション用フィルタの取引拡大へ

- 2010年に中型ホイールローダーに初搭載
- 2013年には多機種展開・補給部品の需要が本格化



ホイールローダー

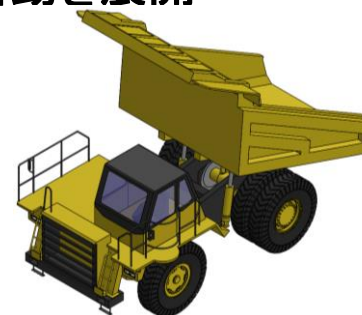


TM用フィルタ

- 米国大手建機メーカーでの採用実績を活かし、他社建機メーカーにも展開
- 米国大手建機メーカーでの全機種採用へ向けて営業活動を展開



バックホーローダー



ダンプトラック

戦略①

戦略②

戦略③

戦略①

戦略②

戦略③

### ■ 新興国の燃料事情に適合した燃料用フィルタの拡販

- 新興国の粗悪な燃料に対応して高い機能が要求される
- 2013年から国内大手建機メーカーへ燃料フィルタの供給開始



中国の軽油サンプル



日本の軽油サンプル

- 世界レベルでの排ガス規制強化という追い風と、国内大手建機メーカーでの実績を基に他メーカーへのアプローチ強化

#### 地域別排ガス規制の状況

- 中国は2015年よりTier3レベル導入予定
- 日本・EU・アメリカは2014年現在Tier4～ Tier4Finalレベル

※排ガス規制: 大気汚染対策として、排出ガスの汚染部室を制限する規制

- 米国大手建機メーカー向け**エンジン用フィルタ**を起点に、ラインナップ強化へ

戦略①

戦略②

戦略③

- **エンジン用フィルタ**は**売上全体の1/3を占め**、提供する業界も 船舶・宇宙・発電所など多岐にわたる
- **2011年**にディーゼル型大型発電機へ**初搭載**
- ディーゼル型発電機の小・中型など**ラインナップを強化**し、建機用エンジンなど他機種採用につなげる

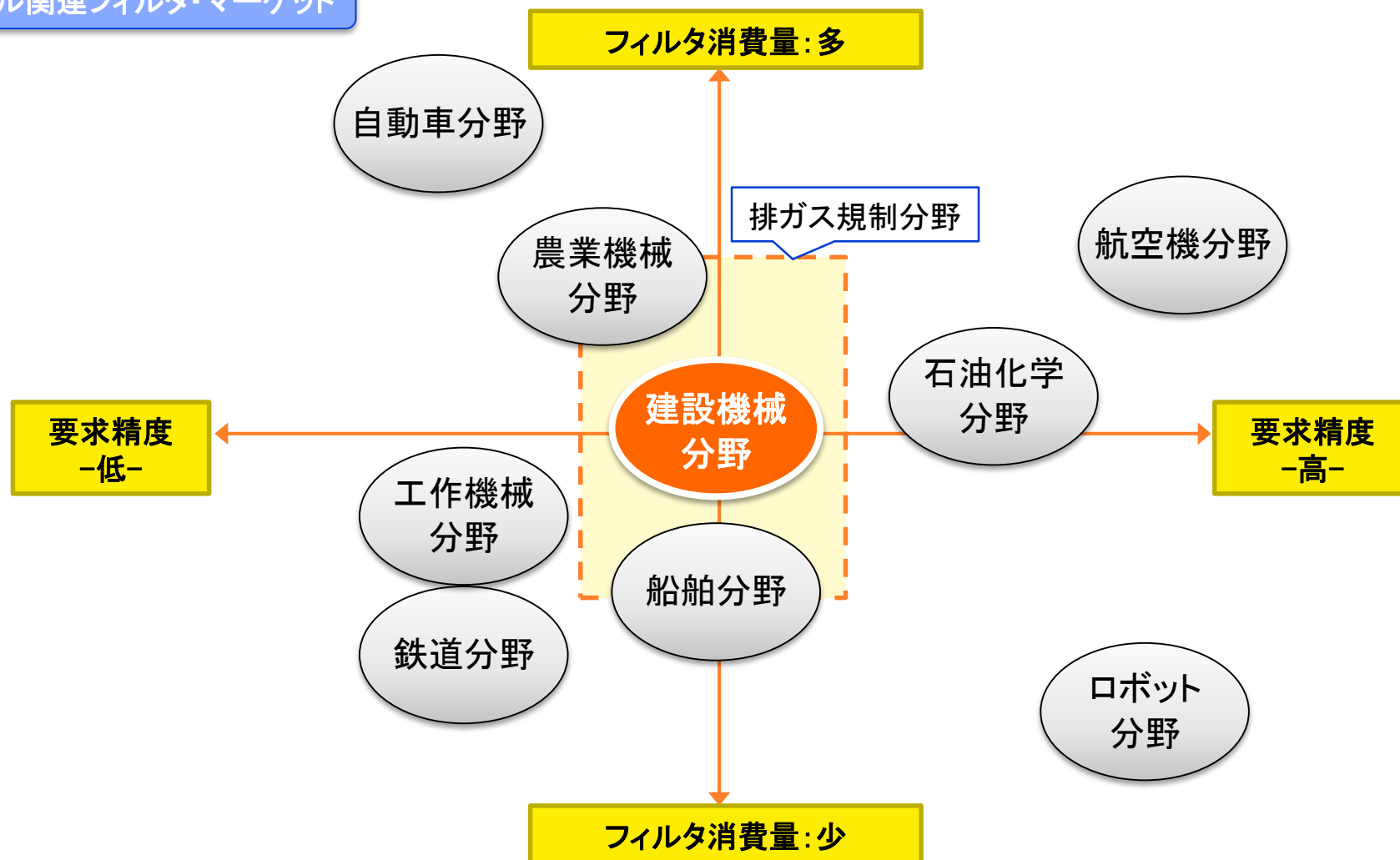
## ■ 建機の周辺分野やノウハウを活用した新分野の進出を検討

戦略①

戦略②

戦略③

オイル関連フィルタ・マーケット



## IV. 2015年3月期第2四半期業績・通期見通し

- 10月8日に東証2部に上場。
- 売上・損益
  - 1) 売上高は前年同期比▲0.4%減収の5,473百万円
  - 2) 営業利益は前年同期比▲8.6%減益の563百万円
  - 3) 純利益は前年同期比▲10.2%減益の373百万円
- セグメント状況
  - 1) 地域別セグメントの状況
    - ① 日本では継続した公共投資により一部に明るさは見られるものの住宅着工戸数の減少や排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動により売上は前年同期比を下回る
    - ② 北米や欧州では回復基調にある住宅着工戸数の増加に伴い堅調に推移
    - ③ 中国では不動産投資減速に伴い建設需要が後退
  - 2) ライン品・補給品別セグメント状況
    - ① ライン用フィルタは主に中国市場の需要減速により売上高が前年同期比▲4.4%減収
    - ② 補給品の売上高は新車販売減に影響を受けず対前年同期比+4.5%増収
  - 3) その他売上
    - ① プロセス製品は、得意先各社の在庫調整の影響を受け、売上高が減少しており、前年同期比▲8.2%減収
- 為替変動の影響

急激な円安基調で迎えた上期において、グループ内の通貨マリーによる持ち高調整により事業収益に与えた為替の影響は約3百万円の評価損と極めて軽微であった
- 通期業績予想は変更せず。

- 国内・米国は好調だが、中国市場の低迷により14.3期に比べて若干減収・減益

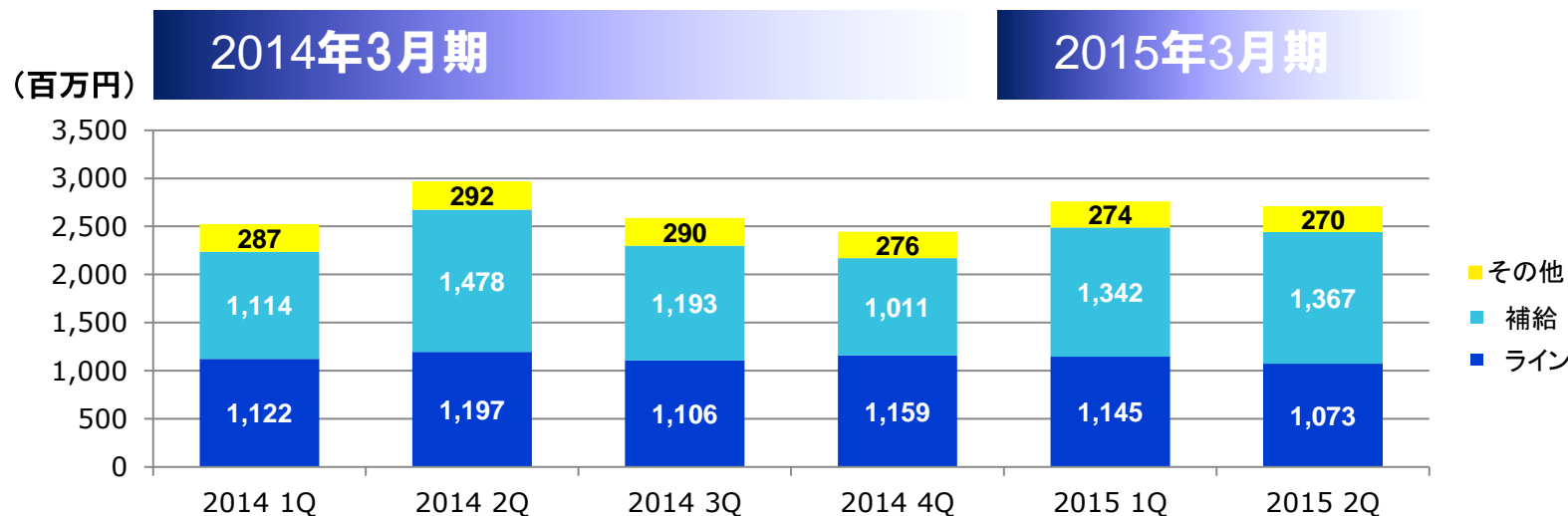
(単位:百万円)	2014/3期	2015/3期	増減
	第2四半期累計	第2四半期累計	%
売上高	5,493	5,473	△0.4%
売上総利益	2,405	2,369	△1.5%
<b>売上総利益率</b>	<b>43.8%</b>	<b>43.3%</b>	—
販売管理費	1,788	1,805	+1.0%
<b>販管比率</b>	<b>32.6%</b>	<b>33.0%</b>	—
営業利益	616	563	△8.6%
<b>営業利益率</b>	<b>11.2%</b>	<b>10.3%</b>	—
経常利益	599	563	△6.1%
<b>経常利益率</b>	<b>10.9%</b>	<b>10.3%</b>	—
半期純利益	416	373	△10.2%
<b>純利益率</b>	<b>7.6%</b>	<b>6.8%</b>	—

\* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

## ■ 補給品売上は15.3期第1Q、第2Qを通じて安定的に推移

<四半期業績推移>

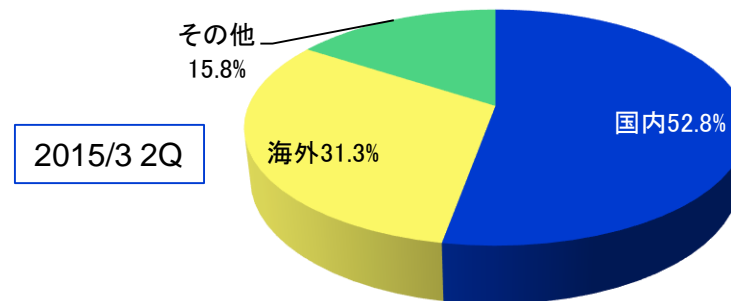
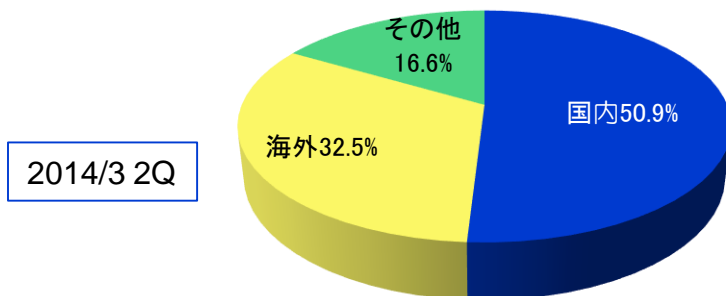
	2014年3月期				2015年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
建機用フィルタ	2,237	2,675	2,300	2,170	2,487	2,440
ライン品	1,122	1,197	1,106	1,159	1,145	1,073
補給品	1,114	1,478	1,193	1,011	1,342	1,367
その他	287	292	290	276	274	270
合計	2,524	2,968	2,590	2,446	2,761	2,711





## ■ 中国市場低迷、前期特需の影響により海外向け得意先減少も、国内向け増加

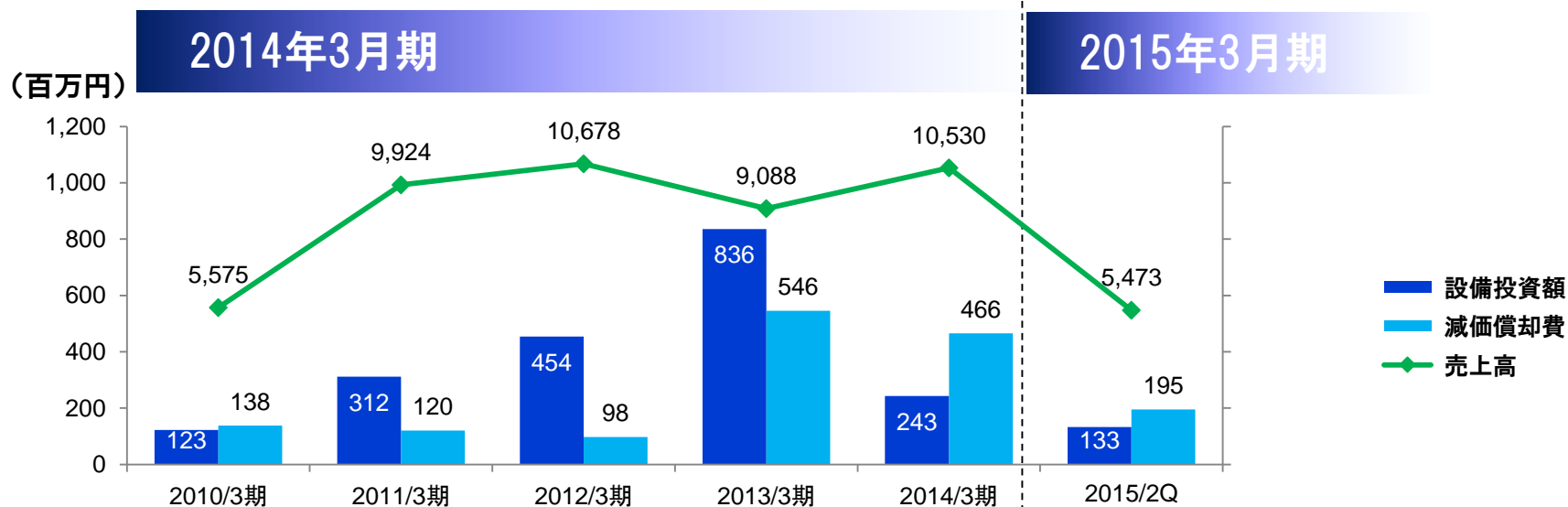
(単位:百万円)	2014/3期 第2四半期		2015/3期 第2四半期		前年同期比
	金額	%	金額	%	%
国内メーカー	2,798	50.9%	2,892	52.8%	+3.4%
ライン	993	18.1%	1,012	18.5%	+1.9%
補給	1,804	32.9%	1,879	34.3%	+4.1%
海外メーカー	1,783	32.5%	1,714	31.3%	△3.9%
ライン	1,021	18.6%	926	16.9%	△9.3%
補給	761	13.9%	787	14.4%	+3.4%
その他	911	16.6%	866	15.8%	△4.9%
売上高合計	5,493	100.0%	5,473	100.0%	△0.4%



\* (14.3期実績は比較の為、未監査2Q実績であります)

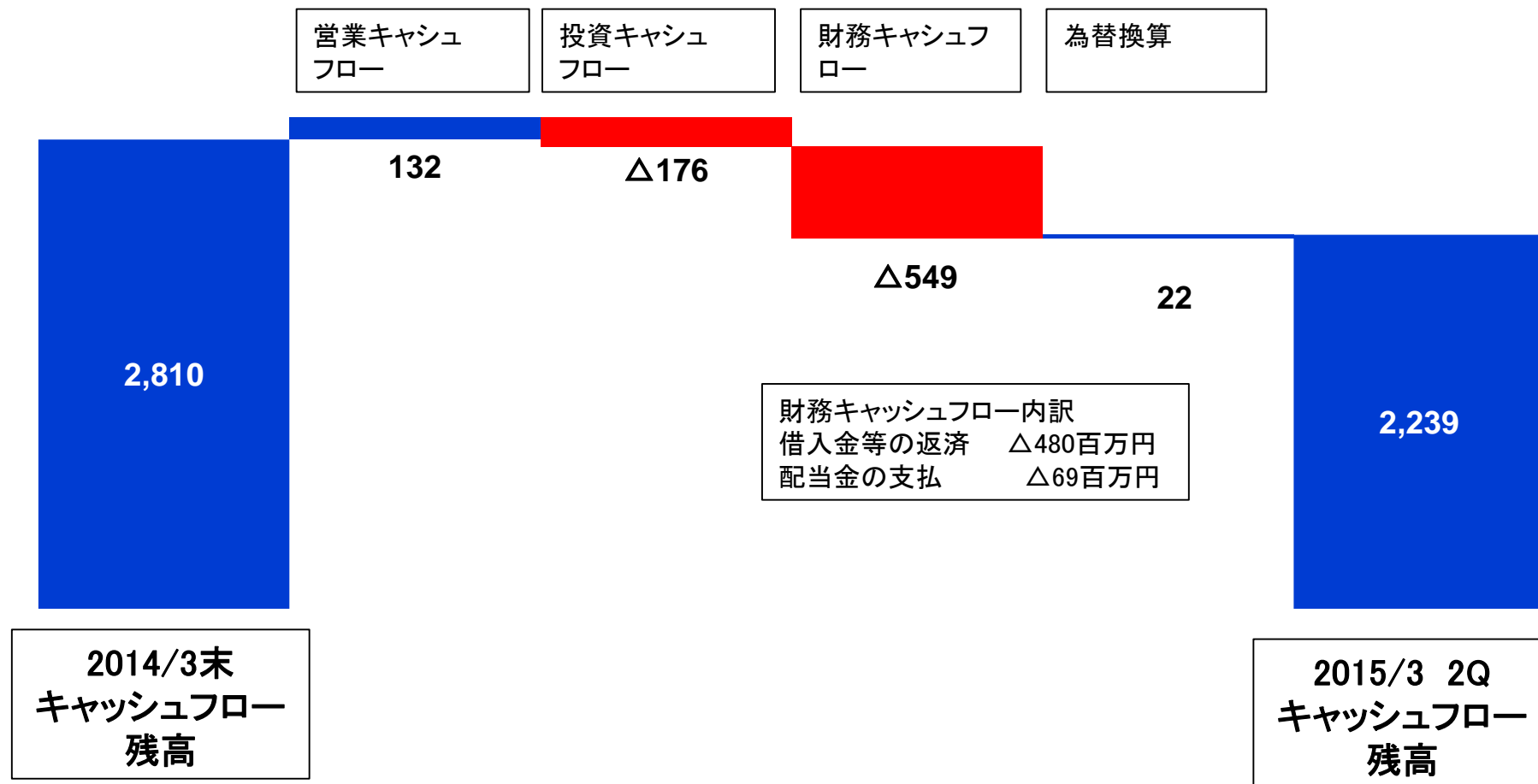
## ■ 売上高に対し、設備投資額は2%、減価償却額は4%で推移する見込み

(単位:百万円)	2010/3期 単体	2011/3期 単体	2012/3期 単体	2013/3期 連結	2014/3期 連結	2015/2Q 連結
売上高	5,575	9,924	10,678	9,088	10,530	5,473
設備投資額	123	312	454	836	243	133
対売上比	2.2%	3.1%	4.3%	9.2%	2.3%	2.4%
減価償却費	138	120	98	546	466	195
対売上比	2.5%	1.2%	0.9%	6.0%	4.4%	3.6%



## ■ 有利子負債圧縮により、現金及び現金同等物の残高が減少

(単位:百万円)



■ 外部環境は、若干弱含みであるが通期業績予想は変更なし

(単位:百万円)	2014/3期	2015/3期	増減
売上高	10,530	11,069	+5.1%
売上総利益	4,440	4,719	+6.3%
売上総利益率	42.2%	42.6%	
販売管理費	3,730	3,902	+4.6%
販管比率	35.4%	35.3%	
営業利益	710	817	+15.1%
営業利益率	6.7%	7.4%	
経常利益	709	787	+11.1%
経常利益率	6.7%	7.1%	
当期純利益	336	530	+57.6%
純利益率	3.2%	4.8%	

■ 株主還元と内部留保とのバランスを考慮しながら、安定した配当を行う予定

	13.3期 2012年4月1日 ～ 2013年3月31日	14.3期 2013年4月1日 ～ 2014年3月31日	15.3期 2014年4月1日 ～ 2015年3月31日
配当性向	—%* <sup>1</sup>	20.1%	19.7%* <sup>2</sup>

\*1 13.3期は赤字決算のため、配当性向を記載していません。

\*2 現時点での予定です。

## V. 参考資料

---

商号	ヤマシンフィルタ株式会社 (旧 山信工業株式会社) (英文名称 YAMASHIN-FILTER CORP.)
所在地	〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8 日石横浜ビル16F
設立	1956年4月5日 (昭和31年4月5日)
事業内容	建設機械用フィルタ、産業用フィルタ、精密フィルタ及び関連部品の製造・販売
資本金	822百万円 (2014年11月末現在)
代表者名	代表取締役社長 山崎 敦彦 (ヤマザキ アツヒコ)
連結業績 2014年3月期	売上高 : 105億円 営業利益 : 7億円 経常利益 : 7億円 当期純利益 : 3億円
従業員数	連結: 344名 単体: 116名 (2014年9月末現在)
認定・取得	ISO9001:2008 (JIS Q 9001:2008) 認証取得 ISO14001:2004 (JIS Q 14001:2004) 認証取得





## 環境理念

自然と環境の明日を担い、  
豊かで持続可能な社会の創造に貢献します。



## ■ 建機の過酷な使用環境に耐え、建機を支える強度と精度と寿命

### 1. 耐圧強度

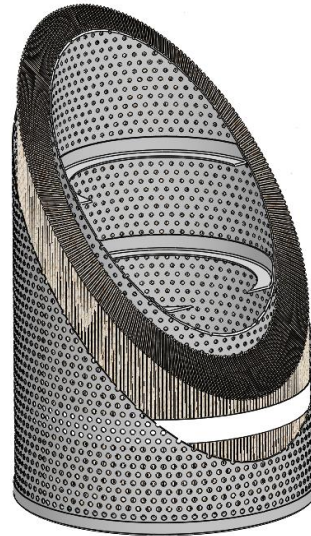
疲労破壊・破損を防止する構造  
作動油の流量は最大**1,000リットル**  
平均**9トン**

### 2. ろ過精度

建機故障の**70%**が油圧回路内の**ダスト**が原因  
花粉程度の大きさのダストを濾過

### 3. 環境対応

長寿命化・**リサイクル**メン  
テナンスの簡易性を想定  
した設計



### 4. 対振動に対する強度

建機の**過酷な使用環境**に耐える  
強度

### 5. 建機メーカーごとのカスタマイズ

建機の特性に  
応じた性能  
建機メーカーの方針に  
沿った設計

## ■ 耐久性と「ろ材」性能によって油圧フィルタの優劣は決まる

ろ材以外

フィルタの基本的な構造

ろ材

内筒  
ろ材の耐圧性を高める

外筒  
ろ材を保護する

バンド  
ろ材を固定する

プレート  
内筒の強度を向上させる



「ろ材」

油中ダストを捕獲する  
紙ろ材が多く使われ、ほかにコットン、合  
成樹脂、**ガラス繊維**など

「ろ材」3大性能

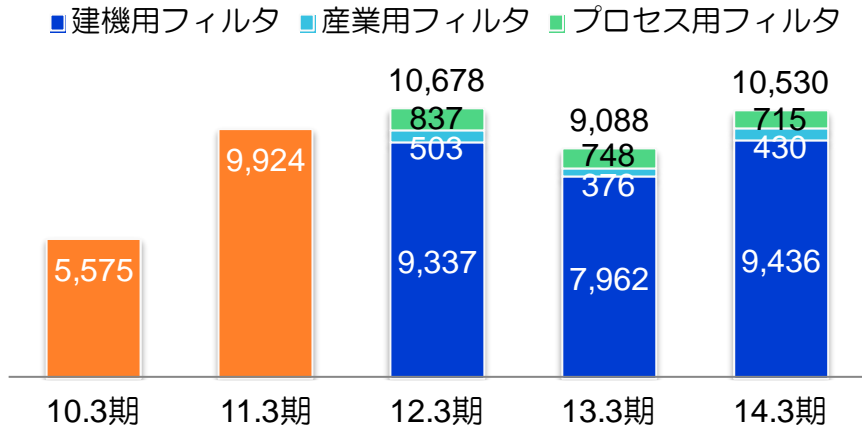
①フィルタ寿命

②ろ過精度

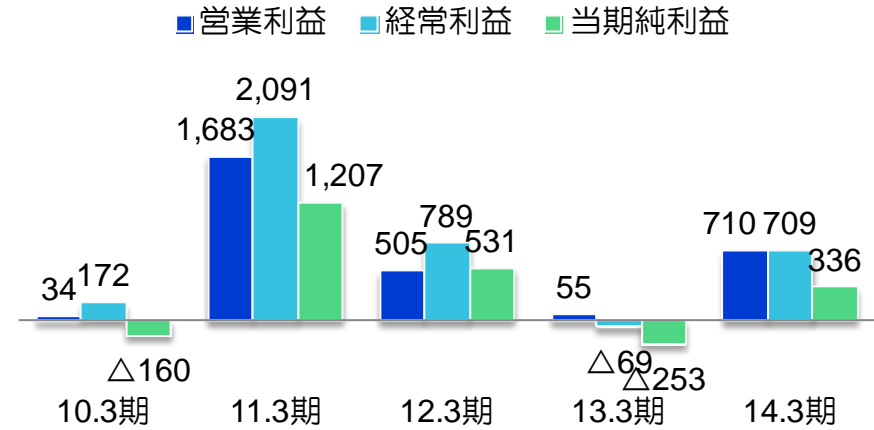
③圧力損失

3大性能の**優劣**と**バランス**で「ろ材」の品  
質が決まる

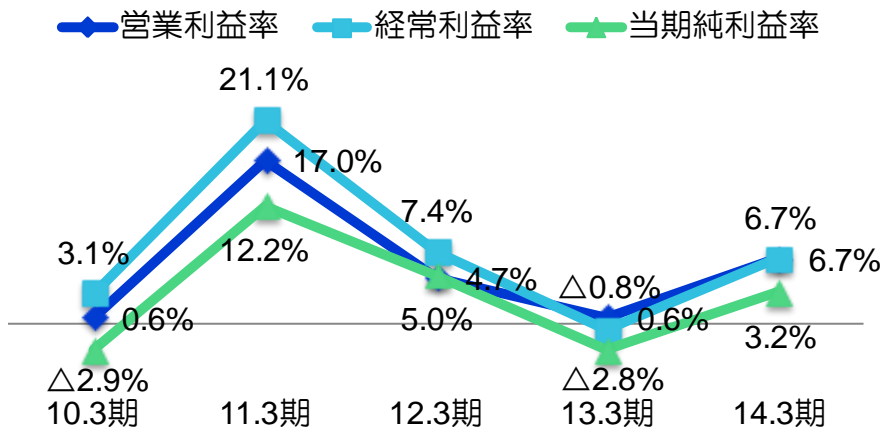
## 売上高(百万円)



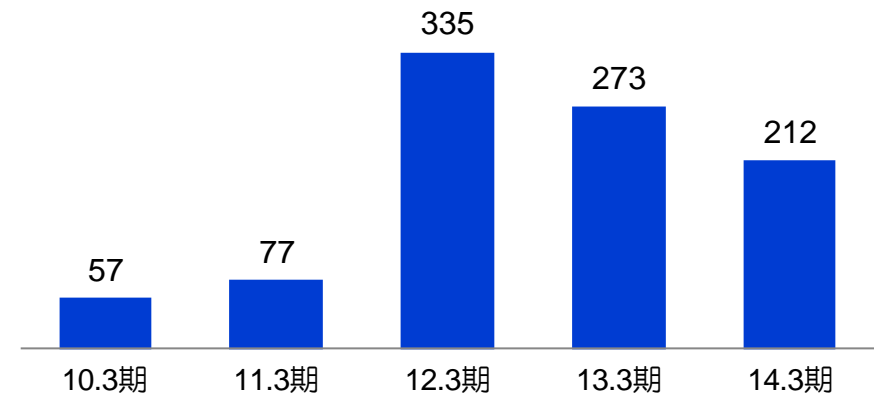
## 利益(百万円)



## 利益率(百万円)

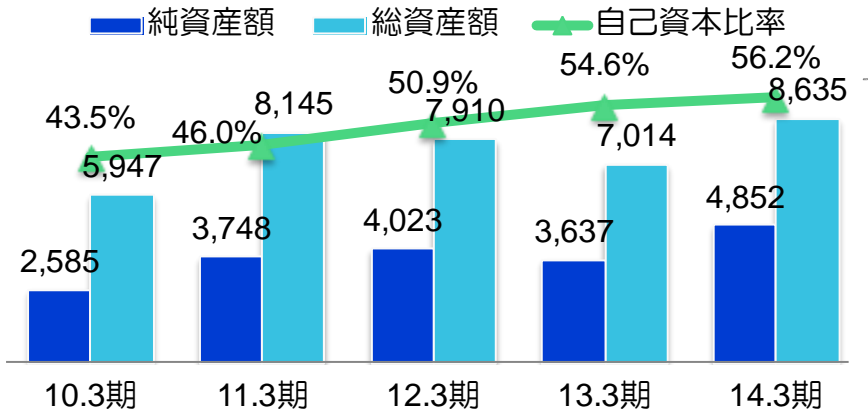


## 研究開発費(百万円)

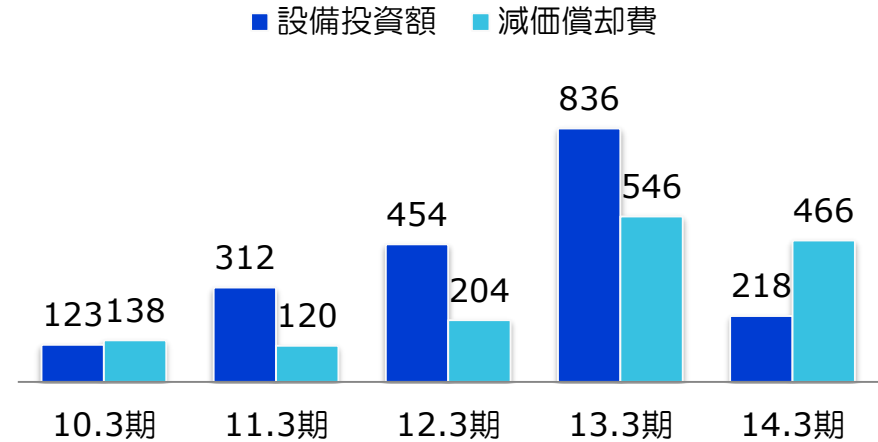


\* 12.3期までは単体、13.3期から連結

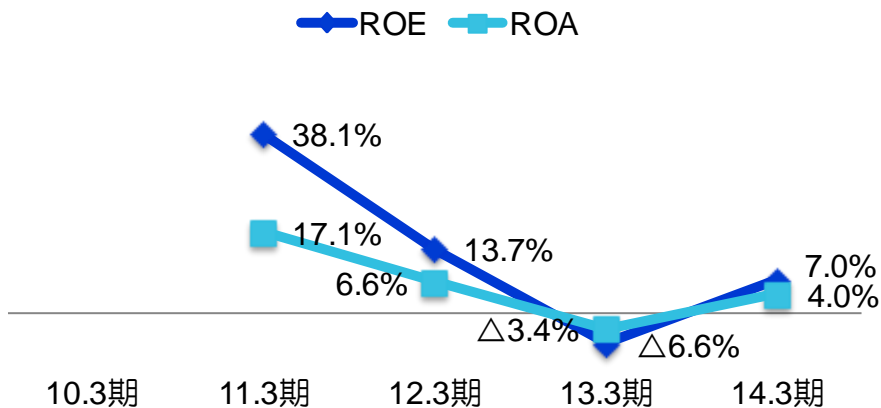
## 純資産および総資産、自己資本比率(百万円、%)



## 設備投資額および減価償却費(百万円)



## ROEおよびROA(%)



\* 12.3期までは単体、13.3期から連結

## ■ 損益計算書

(単位:百万円)	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
	55期 単体	56期 単体	57期 単体	58期 連結	59期 連結	60期計画 連結
売上高	5,575	9,924	10,678	9,088	10,530	11,069
売上総利益	1,666	3,789	3,065	3,671	4,440	4,719
売上総利益率	29.9%	38.2%	28.7%	40.4%	42.2%	42.6%
販売管理費	1,631	2,105	2,560	3,615	3,730	3,902
販管比率	29.3%	21.2%	24.0%	39.8%	35.4%	35.3%
営業利益	34	1,683	505	55	710	817
営業利益率	0.6%	17.0%	4.7%	0.6%	6.7%	7.4%
経常利益	172	2,091	789	△ 69	709	787
経常利益率	3.1%	21.1%	7.4%	△0.8%	6.7%	7.1%
当期純利益	△ 160	1,207	531	△ 253	336	530
純利益率	△2.9%	12.2%	5.0%	△2.8%	3.2%	4.8%

\* 12.3期までは単体、13.3期から連結

## ■ 貸借対照表

(単位:百万円)	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期
	55期 単体	56期 単体	57期 単体	58期 連結	59期 連結	60期計画 連結
流動資産	4,662	6,233	5,197	5,675	6,690	7,003
固定資産	1,284	1,912	2,713	2,429	1,944	1,949
有形固定資産	518	707	828	1,921	1,557	1,573
無形固定資産	105	82	197	212	169	161
投資等	661	1,121	1,686	295	217	214
資産合計	5,947	8,145	7,910	8,105	8,635	8,953

流動負債	2,259	3,494	3,385	3,355	2,432	1,647
固定負債	1,101	903	501	322	1,350	1,063
負債合計	3,361	4,397	3,887	3,678	3,782	2,710
純資産合計	2,585	3,748	4,023	4,426	4,852	6,243
負債 純資産合計	5,947	8,145	7,910	8,105	8,635	8,953

\* 12.3期までは単体、13.3期から連結

■この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢などの様々な要因等によって異なる可能性があります。

この資料に関するお問い合わせは  
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL (045-680-1671)  
E-mail: [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)